

阿蘇の水を清らかに

民間団体が水源涵養樹を植樹

(株)南九州コカ・コーラボトリングは、(財)阿蘇グリーンストックの協力を得て、昨年から阿蘇市蔵原の市有林11ヘクタールに水源涵養林をつくっています。九州の水がめである阿蘇の山に4年間でヤマモミジや



クヌギ、コナラなど約8,000本の水源涵養樹を植える計画で、4月14日は、第2回目の植樹が行われました。朝から社員とその家族、また、ボランティアの人たち約150人が集まり、阿蘇森林組合の指導のもと、2,300本の苗木を植えました。

阿蘇市福祉事務所嘱託医に内田徳郎氏



辞令交付のもよう。「困っている人たちのために尽力したい」と内田氏(左)。

4月4日、阿蘇市役所で阿蘇市福祉事務所嘱託医委嘱状交付式が行われ、塚本市民部長(阿蘇市福祉事務所長)から内田徳郎氏(阿蘇郡市医師会長)に委嘱状が交付されました。

嘱託医は各福祉事業における医療扶助等の適正実施を図るために配置され、医療措置の内容審査や今後の医療方針について、指導・助言を行います。

「阿蘇の未知(みち)を考える女性のつどい」開催

より安全で美しい郷土と道づくりのために

国道57号や中九州高規格道路の早期整備実現と地域振興に向け、2年前から活動していた「阿蘇の未知(みち)を考える女性の会」が、正式に発足し、4月22日、その設立総会を兼ねた「女性のつどい」が農村環境改善センターで開催されました。会組織は、阿蘇市女性団体連絡協議会(地域婦人会、食生活改善推進員協議会、JA阿蘇女性部、商工会女性部、生活研究グループ連絡協議会)、阿蘇法人会女性部、ASO+1、阿蘇を愛する女性有志で構成され、初代会長には小笠原邦子さんが就任しました。つどいは、国土交通省、熊本県、市の関係者を来賓に招き行われ、意見交換では同じ取り組みで先進地の竹田市との協働や、道づくりへの熱い思いを伝える活動などについて話し合われました。また、国土交通省河川国土事務所課長大槻氏による基調講演もあり、阿蘇でのみちづくりがいかに県内外の活性に影響があるかを確信し、一層早期実現へ意識を高めました。

会では、今後も勉強会の開催や積極的なアピール活動を行っていく予定です。また、地域振興やみちづくりに興味のある女性の方々を募集しています。

お問合せは、小笠原会長(34-0349)までお願いします。

